Integra®






PROGRESSIVE SCAN
DVD
TITLE
CHP


Master Volume
DIGITAL
DVD Dolby D EX 40
Push to Open



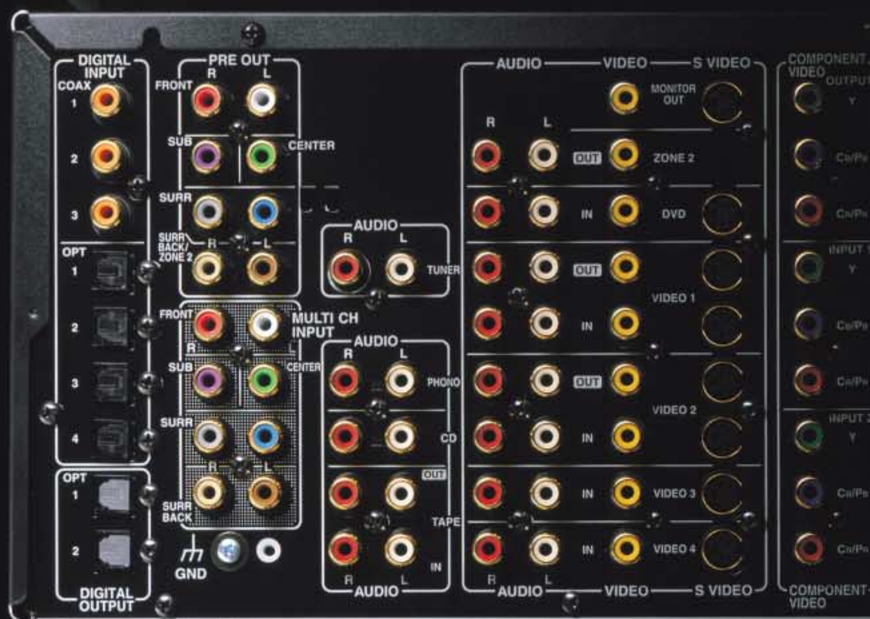


Feel Comfortable

快適さへの追求が、デジタルを、また一歩、人に近づける。

たとえ、どんなにデジタル化が進もうとも、
普遍的なテーマがあります。
それは、かならず、そこには人が介在するということ。
人にとって、デジタルがどう活かされるのか。
Integraは、Audio&Visualを通じて
人とデジタルが快適に結びつくカタチを創造します。

Integra®

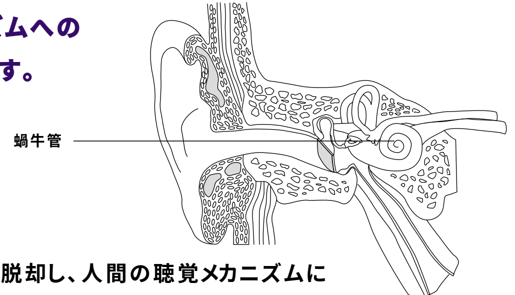






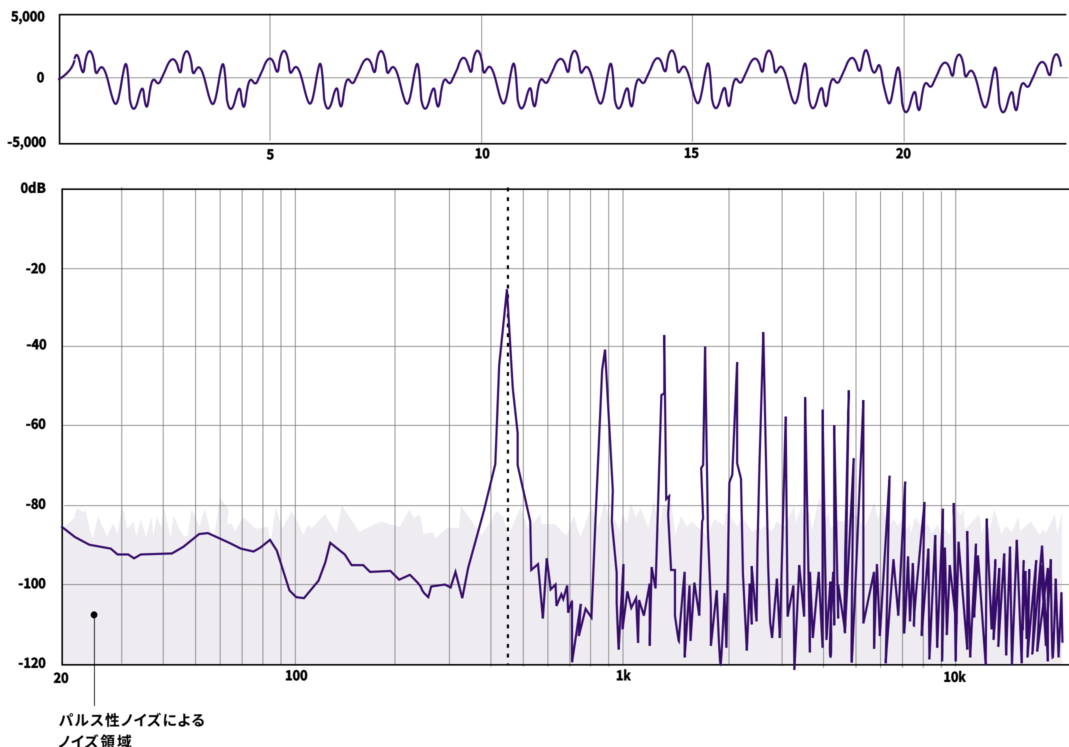
Integra Sound Technology

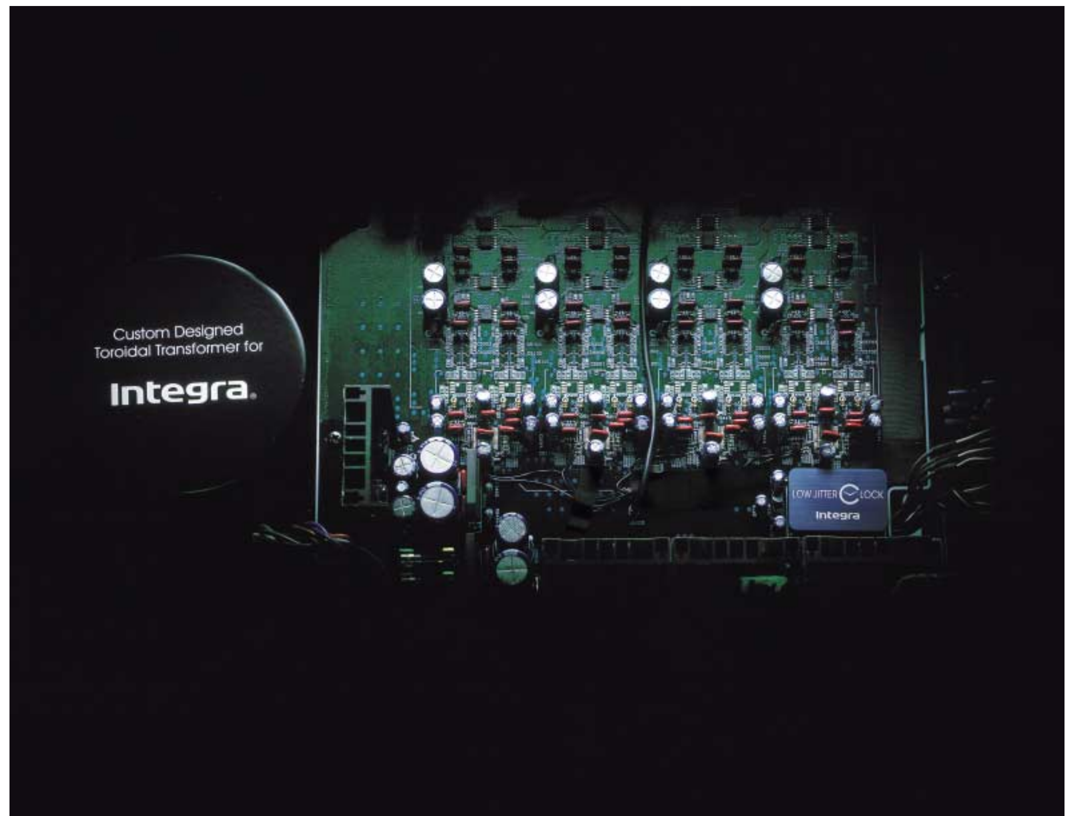
スペックの領域を遥かに超える聴覚メカニズムへの
新たな挑戦がIntegraサウンドの原点です。



オンキョーは、1990年よりそれまでのスペック至上主義のサウンド設計から脱却し、人間の聴覚メカニズムに向き合ったサウンド設計を行い、数々の技術革新を続けてきました。
人間の聴覚は、耳に入った情報を蝸牛管で周波数領域に変換し、脳に伝え、その音と過去に得た知識や経験と照らし合わせ、それがどのような発音源であるかを類推するメカニズムを備えています。そしてこのメカニズムは、その音の音色成分を読み取り、超微小なディテールの違いまで聴き分けることができるのです。たとえばそれがバイオリンのサウンドであれば、微小サイズの音色成分を読み取ることで、それがストラディバリウスなのか、また、弾き手は誰なのかという情報まで判断できるのです。しかし、デジタルオーディオ機器は、より多くの情報量の伝達を可能にする反面、これに比例してあらゆる回路やパーツから尖頭値の高いパルス性ノイズを多量に発生します。そして、これらのノイズがそのまま音声信号と共に聴覚へ伝達され、聴覚の感度を狂わせ、微小な音色成分の感知を著しく下げているのです。
Integraのサウンド設計では、この感知を妨げる要素であるパルス性ノイズの根絶を主眼におき、これを見事に実現しています。デジタルオーディオ時代の真の幕開けを告げるIntegraの溢れんばかりのサウンドを、ぜひ、あなたの耳でお確かめください。

バイオリンの波形と周波数スペクトル解析図



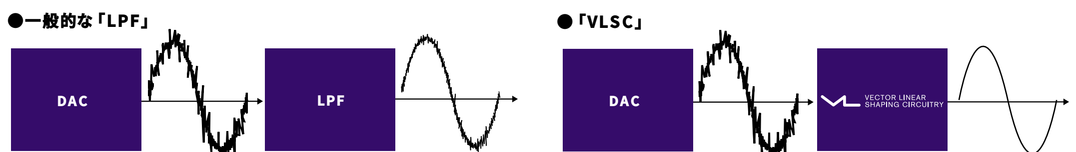


●DTC-7 D/Aコンバージョン回路部

新開発VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）搭載D/Aコンバージョンシステム。

Integraに搭載のD/Aコンバージョンシステムは、高精度192kHz/24bit DACチップによる優れた解像度と独自のアナログ波形生成技術による高純度を、高次元で融合させています。通常のD/Aコンバージョンシステムの場合、DACチップから送り出されるアナログ信号では、クロックやDACチップなどのデジタル素子をはじめ、あらゆる回路から、聴覚を揺るがすパルス性ノイズが発生し、アナログ信号に付加します。そして、このパルス性ノイズをLPF（ロー・パス・フィルター）を用いて軽減させます。しかし、この方法では、軽減はできても完全な除去には至りません。Integraに搭載のD/Aコンバージョンシステムでは、このLPFの代わりに、独自開発のアナログ波形生成回路VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry）をDAC後段に配置。この回路は、DACチップから送り出された信号を独自の演算プログラムによりパルス性ノイズに代表される輻射ノイズを取り除き、ピュアなアナログ信号のみを送出します。その結果、パルス性ノイズによる微小な音声信号のマスキング現象を解消し、人間の聴覚へ微小サイズの音色要素の認識をもたらします。

●一般的な「LPF」　●「VLSC」



D/A Conversion System

よりハイビット&ハイサンプリング化する高精度デジタルソース時代にとって、
D/Aコンバージョンシステムこそが、サウンドクオリティを決定づける
重要な要素であるといっても過言ではありません。
なぜなら、それがデジタルと人を結ぶ唯一の手段だからです。
しかし、それは精度を高めるだけで高いポテンシャルを確保できるわけではありません。
だからこそ、オンキョーは究極のD/Aコンバージョンシステムを開発し、Integraに搭載したのです。

Digital Amplifire Technology

**デジタルアンプ。それは確かにアナログアンプに比べ高精度、省電力、高効率というメリットを備えています。
しかし、そうしたメリットだけに目をうばわれず、それによってもたらされるデメリットに配慮しなければ
たとえデジタルの力を借りてもアナログアンプ以上のポテンシャルを達成することは不可能なのです。
Integraに搭載したPWM方式デジタルアンプは、スピード感溢れるスピーカードライブ能力と優れた高効率、
そして何よりもデジタルアンプとは思えない滑らかな音の再現力を特徴としています。
また、それはあらゆる帯域で、アンプに送り込まれる音声信号に対し
アナログアンプ以上に瞬時に力強く反応します。**

新開発デジタルアンプ技術VL digital。

オンキョーの人間の聴覚メカニズムに向き合ったサウンド設計は、ついにデジタル領域にたどり着きました。それが、Integraに搭載した新開発デジタルアンプ技術VL digitalです。この技術は、アナログ信号をデジタル信号に変調する際にデジタル素子から発生するパルス性ノイズ、さらに機器内のさまざまな回路や素子から発生する輻射ノイズを撲滅し、デジタルアンプのサウンド設計上、致命的要因であったパルス波形へのジッターの付加を未然に防ぎます。その結果、デジタルアンプならではの極めて正確で効率的な増幅と圧倒的なドライビング能力を実現。さらに、ジッターによる微小な音声信号のマスキング現象を解消し、人間の聴覚へ微小サイズの音色要素の認識をもたらします。また、アンプ開発に対するオンキョーの情熱は、デジタル技術だけに注がれているわけではありません。オンキョーはこのデジタルアンプの開発に際し、その性能を最大限に引き出すため、長年にわたり蓄積したアナログ技術を電源供給回路の設計に投入。音そのものの「温もり」や「エネルギー」を損なわぬよう低NFB（負帰還）回路としたうえで、最新のゼロスイッチング電源をはじめ、3層構造による極太銅バスプレート配線、大容量コンデンサーなど使用するパーツひとつひとつに超低インピーダンス化を徹底。さらに、アンプ基板にも1chごとに10,000μFの大容量コンデンサーを2基配置させクイックレスポンス化。これらの技術投入により、真空管アンプ時代を髣髴させる卓越したドライビング能力を実現したのです。



●DTA-7 デジタルアンプ回路部

Human Interface

Integraの設計は、機能だけを追求したものではありません。
お使いいただく方の感性と響き合い、
永く色褪せることなく快適にご使用いただくことを主眼においています。
その設計は、エンジニアとデザイナーが綿密に協力して行われています。
その結果、観るものを魅了してやまない美しいフォルム、完璧に仕上げられたディテール、
ユーザー志向の確かな機能、
そして全体の比類なき快適性が生まれるのです。



丹念に仕上げられたデザインから、快適性は生まれます。

Integraは最新の人間工学に基づいて、徹底したユーザー志向のフロントパネルデザインを実現しています。Integraのデザインの象徴ともいえる全機種に共通のガンメタリックのパネルカラーと視認性に優れたブルーディスプレイ。シアターシーンでは、フルディマー機能が働き、その存在を隠し映像美に身をゆだね、音楽シーンでは、ひときわ美しく輝き、オーディオとして操る喜びを味わっていただけます。さらに、最高レベルの快適な操作性を追及したAVコントロールセンターDTC-7では、ディスプレイ下部に頻繁に使うインプットセレクターを、使用頻度に合わせ分かりやすく配置。しなやかなカーブを描くパネルの下部に設けられた開閉式パネルには、通常の使用環境時で手を触れることがない初期設定や、カスタマイズ設定に関連したスイッチをまとめて格納。操作性をさらに向上させています。

流行ではなく、ユーザーのニーズを追求した機能性。

より思い通りに。より迷うことなく。Integraは、より快適に映画や音楽を楽しめる環境づくりをサポートしています。その一つがDTC-7に搭載したカスタム設定機能。それぞれのユーザーの使用状況に合わせ、各入力ソースごとに使用するサラウンドモードを設定したり、使用する機器の名称をディスプレイに表示させたり、それぞれのユーザーオリジナルのカスタムメイド機に仕上げることができます。そしてもう一つが、全機種に装備した豊富なAVコントロール端子群。Integraシステム間の連動操作をはじめ、あらゆるオンキョー製品とのシステム連動には、RIオーディオコントロール端子を。また、AVコントロールセンターDTC-7と7chデジタルパワーアンプ間の電源及びディマー連動用として、12Vトリガーシステムコトロール端子を装備。さらに、DTC-7には、AMXやクレストロンなどのホーム・オートメーション・システムとの接続を可能にするRS232 AVコントロール端子や、外部赤外線コントロール端子接続により、より自由な設置と操作性を実現するIRコントロール端子まで装備。将来的により快適な環境をお創りいただく際にも安心です。さらに、次世代のネットワーク時代を視野に入れたネットワーク・オーディオ機能を搭載し、AVライフの新たな可能性も創造しています。

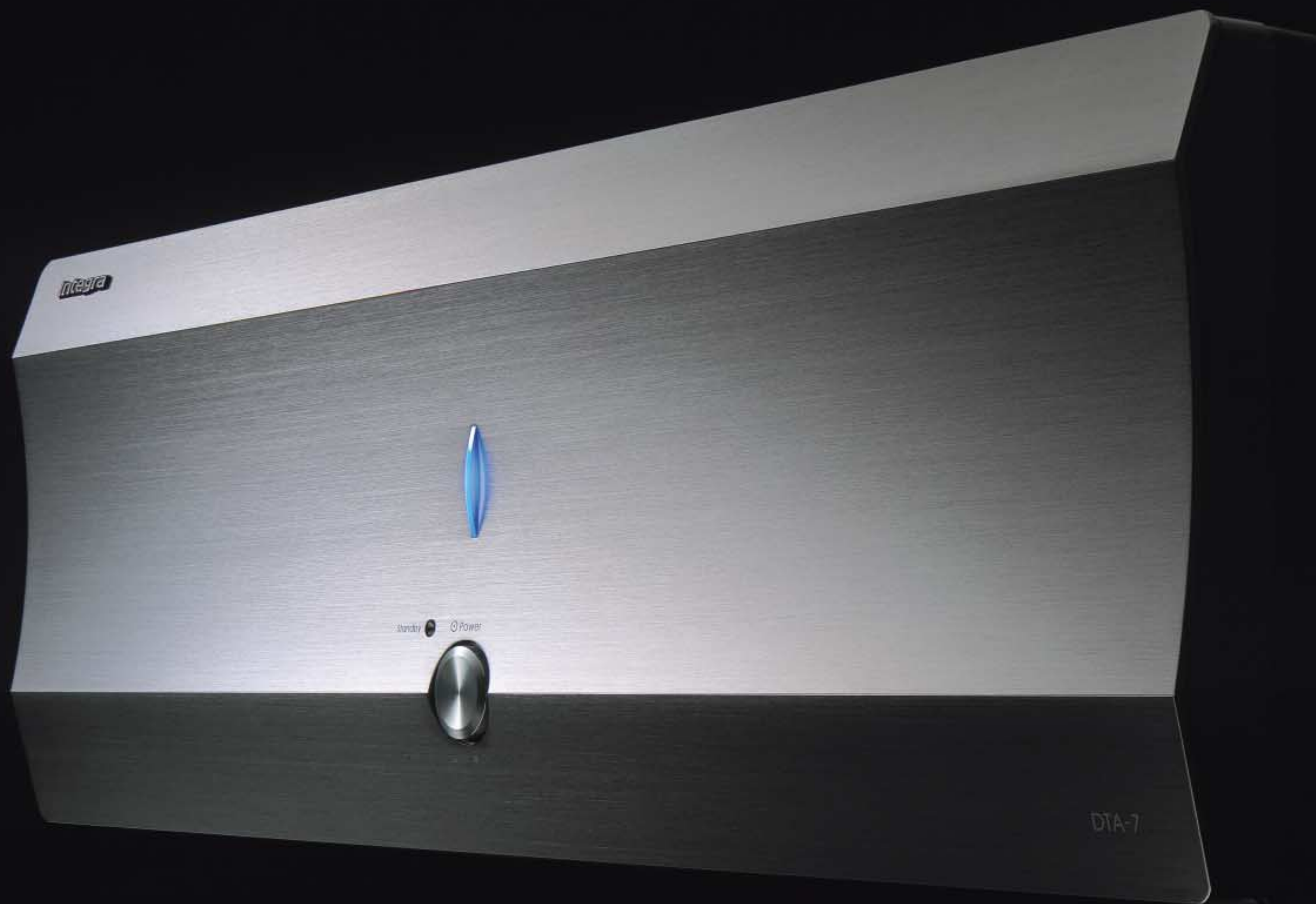






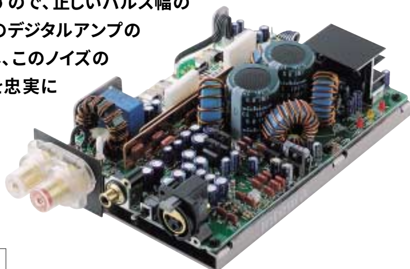
7.1ch
Digital
Power
Amplifier

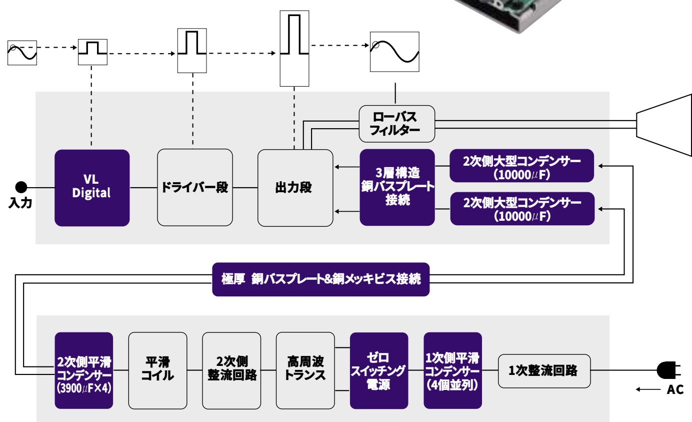
DTA-7



●オンキョー独自開発のデジタルアンプ技術、“ VL digital ”搭載

DTA-7のパルス変換には、アナログ量を丸め込むことなくデジタル量に変換でき、かつ可聴帯域外のノイズが極めて少なく、効率の面でも優れ、さらに、オーディオ信号のもつ実在感や生々しさを損なうNFBに依存しなくても性能が確保できるという音質上のメリットからPWM（パルス幅変調）方式を採用しました。さらに、PWM方式についてもオンキョー独自の方式を開発し採用しました。一般的なPWM方式はオーディオ信号に三角波をのせ、この信号がトリガーレベルを切ったときに「0」「1」の反転を行いますが、アンプ内で発生するスパイク状のノイズの影響を受けやすいという問題を抱えています。そこで、ノイズの影響を受けない独自開発のパルス幅変調技術“ VL digital ”を開発・採用しました。この独自方式はベクター・リニア技術であるベクトル発生器と積分器、反転トリガー発生器で構成されています。前述の三角波方式が瞬時値でパルス幅変調をするのに対して、面積値でパルス幅を決定しますので、スパイク状ノイズが混入しても、スパイク状ノイズは上下対称の波形のため、その面積は相殺されますので、正しいパルス幅の出力が得られます。これにより、今までのデジタルアンプの元凶ともいえるパルス性ノイズを根絶し、このノイズの影響によりマスクされていた微小な音を忠実に再現し、あふれんばかりの「豊かな情報表現力」を実現しました。





●超低インピーダンス設計の大容量電源回路&大電力供給ライン

DTA-7の電源回路はスイッチング電源を採用しました。スイッチング電源は通常は小型化が目的で採用されますが、DTA-7では、低インピーダンス化しやすい特長を活かして、スイッチング電源としては超大型で、かつ大容量電源回路を搭載しました。それにより、電源電圧の変動がきわめて少なくなり、多量のサーボに頼ることなく、低帰還サーボで安定した電力供給を実現しました。さらに、増幅素子への電力供給の安定性と瞬時供給能力を高めるため、電力ラインの超低インピーダンス化を図っています。

■1次側平滑コンデンサー4個を並列接続。高周波トランスおよび高速整流ダイオードの組合せを2組並列使用。（電源回路の低インピーダンス化）■電力供給ラインには極厚銅バスプレートを採用。プレート接合部は銅メッキビス止めを採用。■2次側電源コンデンサーは出力段のMOS FETに直近のデジタルアンプ基板に1chごとに大型コンデンサー(10,000μF×2)を配置した上で、銅バスプレートで接続。MOS FETと2次側電源コンデンサー間の銅バスプレートは3層構造とし、電流ループを最小化することで誘導磁界の発生を抑制。■電源の出力端からみた1次側と2次側を合わせた等価容量は、正負それぞれ約136,000μF。



●デジタルアンプ基盤部 銅バスプレート



●電力供給ライン部

●ノイズの少ないゼロ・スイッチング電源仕様

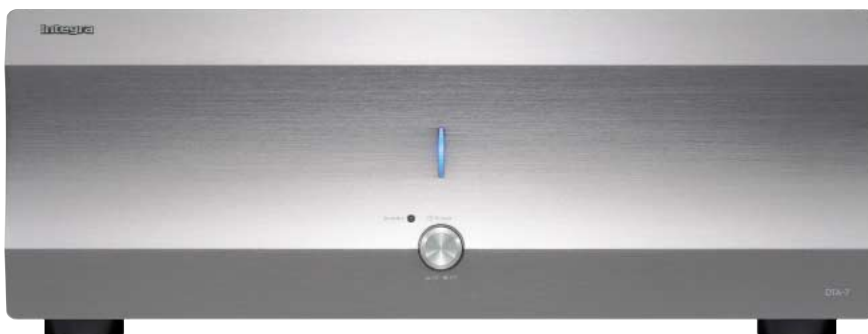
DTA-7のパルス変換スイッチング電源のスイッチング素子にはMOS FETが使用されますが、MOS FETのドレインーソース間には接合容量などの容量成分があります。MOS FETが「OFF」のとき、ここに電源電圧が加わっていて、この容量成分はフル充電の状態になっています。この状態でMOS FETをONさせるとスパイク状の放電電流が流れ、スイッチング損失や電磁波ノイズを増加させます。DTA-7では、これによるノイズの発生や損失を抑えるため、「ゼロ・スイッチング電源」を採用。スイッチング電源のスイッチがONになる前に、MOS　FETのドレインソース間に充電された電気を放電させ、MOS FETの電圧がゼロもしくはそれに近くなったときMOS FETをONさせることで、電磁波ノイズの発生とスイッチングロスを防いでいます。



●新開発大型スピーカー端子採用

電力ラインに銅バスプレートを使用した結果を生かすためスピーカー端子にも配慮し、極太スピーカケーブルがセッティングできるよう新規開発した大型スピーカ端子を採用。ケーブル先端の被覆を剥いたスピーカーケーブルから、Yラグやバナナプラグ仕様の端子までが使用でき、高い圧着性を実現しています。

＜DTA-7主要定格＞
(アンプ部)
●定格出力:フロント120W+120W(8Ω/20Hz～20kHz/1.0%THD)、
センター120W(8Ω/20Hz～20kHz/1.0%THD)、
サラウンド120W+120W(8Ω/20Hz～20kHz/1.0%THD)、
サラウンドバック120W+120W(8Ω/20Hz～20kHz/1.0%THD)
●全高調波歪率:1.0%(120W出力時)
●入力感度/インピーダンス:1V/5kΩ(アンバランス)、2V/10kΩ(バランス)
●周波数特性:10Hz～60kHz/+1dB-3dB(ダイレクト時)
●ダイナミックパワー:267W×2ch(4Ω/1kHz/1.0%THD)
●ダンピングファクター:25(フロント/8Ω)
●SN比:115dB(IHF-A,1VInput/Unbalanced or2V Input/Balanced)(総合)
●消費電力:510W(電気用品安全法技術基準)
●外形寸法:435W×175H×452Dmm
●質量:18.3kg
●入力端子:バランス1／アンバランス1
●出力端子:スピーカーBTL出力(4～16Ω)
●12Vトリガー（コントロールリンク）1
※上記定格は、AEF-17 Filter使用による測定結果です。





7chデジタルパワーアンプ DTA-7　　希望小売価格 \350,000(税別) ◎着脱式AC電源コード/12Vトリガーケーブル付属　　JAN:T4961330014784

AV
Control
Center

DTC-7

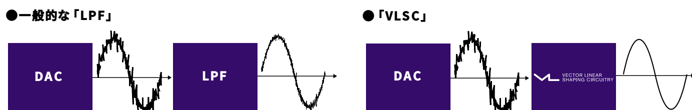




●全チャンネルにVLSC搭載D/Aコンバージョンシステムを投入

DTC-7のD/Aコンバージョン回路には、高精度はもちろんのこと、パルス性ノイズを根絶する仕様がなされています。新開発“ Integraロー・ジッター・クロック ”を採用し、デジタル信号をゆらぎなく高精度にDAC回路に伝送。DACチップには、高精度かつ高周波ノイズの発生が極めて少ないWolfson社製192kHz/24bit D/Aコンバージョンチップを全チャンネルに採用。さらに、D/A変換の際に発生するパルス性ノイズを根絶するため、全チャンネルのDACチップの後段に、ベクター・リニア技術を核にしたアナログ波形生成回路“ VLSC（ベクター・リニア・シェーピング回路）”を搭載。これにより、有害なデジタル回路からの刺激性の強いパルス性ノイズを除去し、従来同ノイズによりマスクされていた微小な音色成分を忠実に再現します。また、ノイズに弱い圧縮オーディオも本来の音で再生するため、MP3/WMA(Internet Audio)やATRAC3(MD Audio)を「ザラつき感を抑えた音質」で再生します。

●一般的な「LPF」　　●「VLSC」



<DTC-7主要定格>
(アンプ部)
●最大出力:8.5Vrms
●全高調波歪率:0.08%(1Vrms出力時)
●混変調波歪率:0.08%(1Vrms出力時)
●入力感度/インピーダンス:2.5mVrms/50kΩ(PHONO)、200mVrms/50kΩ(LINE)、200mVrms/50kΩ(MULTI IN FRONT L/R、CENTER、SURROUND L/R、SURROUND BACK L/R)、36mVrms/50kΩ(SUBWOOFER)
●周波数特性:10Hz～100kHz+1dB/-3dB
●SN比:80dB(PHONO IHF-A)、110dB(LINE IHF-A)
●トーンコントロール最大変化量:BASS±10dB 50Hz、TREBLE±10dB 20kHz
●出力レベル/インピーダンス:200mVrms/470Ω(REC OUT、TAPE、VIDEO1-2)、1Vrms/470Ω(PRE OUTRCA)、2Vrms/470Ω(PRE OUT XLR)、100mVrms/470Ω(ZONE2)
●RIAA偏差:±0.8dB(20Hz～20kHz)
(映像部)
●コンポーネント入出力感度/インピーダンス:1Vp-p/75Ω(Y信号)、0.286Vp-p/75Ω（C信号）、0.7Vp-p/75Ω(CB/CR信号)
●S端子入出力感度/インピーダンス:1Vp-p/75Ω(Y信号)、0.286Vp-p/75Ω(C信号)
●コンポジット入出力感度/インピーダンス:1Vp-p/75Ω
(総合)
●消費電力:58W(電気用品安全法技術基準)
●外形寸法:435W×175H×445Dmm
●質量:11.4kg
●映像入力端子:コンポーネント端子2、S端子6(DVD、VIDEO1-5)、D4 VIDEO端子2、コンポジット端子6(DVD、VIDEO1-5)
●映像出力端子:コンポーネント端子1、S端子3(VIDEO1-2、MONITOR OUT)、D4 VIDEO端子1、コンポジット端子4(VIDEO1-2、ZONE2、MONITOR OUT)
●音声入力:デジタル8(光5、同軸3)/アナログ11(DVD、VIDEO1-5、TAPE、CD、TUNER、PHONO（MM）、マルチチャンネル入力)
●音声出力:デジタル2(光2)/アナログ4(VIDEO1-2、TAPE、ZONE2)/7.1chPRE OUT(アナログ1/XLR1)
●ETHER NET端子1(NET-Tune)
●ヘッドホン端子1



●7.1chフォーマット完全対応、固定小数点演算型32bitデュアルDSP搭載



DSPチップには、演算処理の精度と速度を兼ね備えた固定小数点演算型32bit DSPを2基配置。デコーダー機能とポストプロセッシング機能を独立処理することにより、最新のDTS96/24をはじめ7.1chまでの音声フォーマットを高速かつ高精度に処理します。さらに、DTC-7はTHXの最高規格THX Ultra2にも準拠。THX Ultra2 CinemaモードやTHX MusicモードなどTHXの最新サラウンドモードもお楽しみいただけます。

●D端子/コンポーネント端子独立同時出力、ビデオアップコンバーター搭載

映像出力回路には、ビデオアップコンバーターを搭載。Sビデオ信号やコンポジットビデオ信号も色彩豊かなコンポーネント信号に上位変換して、D端子あるいはコンポーネント端子から出力できます。多様な映像再生機器を接続しても1系統の出力ですみ、モニターやプロジェクターへの配線も手軽に行えるうえ、操作性も格段に向上します。また、D端子あるいはコンポーネント端子は、入出力とも独立回路設計を施しているので、合計4系統の入力が可能。さらに、出力についても2系統の出力が可能で、モニターとプロジェクターを併用で使用している場合でも同時出力でき、画質劣化の心配はありません。

●次世代の音楽シーンを創造するネットオーディオ機能“ Net-Tune ”搭載

DTC-7には、オンキョーが独自開発したネットワークプロトコル“ Net-Tune ”機能を搭載。DTC-7をLANケーブルでネットワーク接続するだけで、インターネットラジオを楽しんだり、パソコンに保存した音楽ファイルを楽しんだりすることが可能。また、通常の他のネットワーク・オーディオ機能では、演奏中早送り操作をすると音とびでや無音状態などネットワーク独特の症状が起こりますが、この“ Net-Tune ”機能はダイレクトアクセス型なので、オーディオ機同様の快適な操作性を実現。ネットワークを意識することなく音楽をお楽しみいただくことができます。



（その他の特長）
●THX Ultra2認定●THX Surround EXデコーダー搭載●ドルビーデジタル、ドルビーデジタルEX、DTS、DTS96/24、DTS-ES&MPEG-2 AACデコーダー搭載●ドルビープロロジックⅡ、DTS Neo:6搭載●Theater Dimentional機能●ドルビーヘッドフォン機能●96kHz/24bit A/Dコンバーター搭載●リニア・オプティマム・ゲイン・ボリューム回路●ハイパワートロイダルトランス採用●ピュア・オーディオモード搭載●Y/Cミックスサーキット搭載（モニターOUT、Zone2）●Recセレクター機能●トーンコントロール機能●ディマー機能（4モード）●インテリボリューム機能●ノン・スケーリング・コンフィグレーション機能●オンスクリーンディスプレイ機能●AC電源着脱式コード●8chバランス出力端子装備●RS232端子装備●IRコントロール端子装備●12Vトリガー（コントロールリンク）端子装備●RIオーディオコントロール端子装備









AVコントロールセンター DTC-7　　希望小売価格 \200,000（税別）◎リモコン/着脱式AC電源コード付属　　JAN:T4961330014715

DVD
Audio/Video
Player

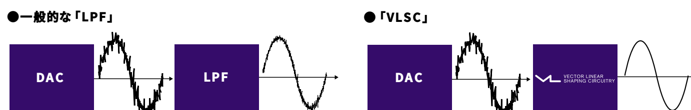
DPS-1

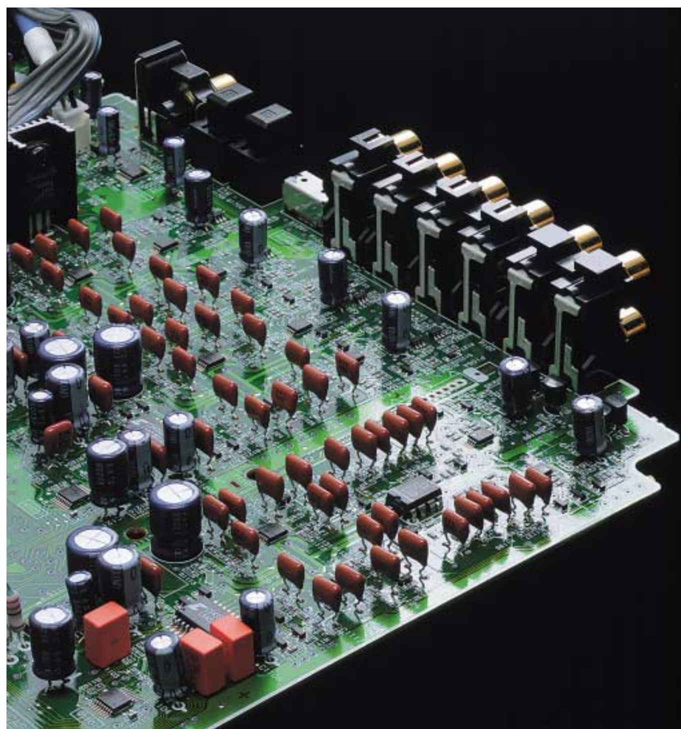


●VLSC搭載D/Aコンバージョンシステム搭載

スーパーオーディオCDやDVD Audioのハイクオリティなパフォーマンスを引き出すため、オーディオD/Aコンバージョン回路には、全チャンネル192kHz/24bit D/Aコンバーターを搭載。さらに、ベクター・リニア技術を核にしたアナログ波形生成回路"VLSC（ベクター・リニア・シェーピング回路）"をDACチップの後段に設置。さまざまな回路や部品からの輻射ノイズやデジタル回路からの刺激性の強いパルス性ノイズを除去し、従来これらのノイズによりマスクされていた微小な音色成分を忠実に再現します。

●一般的な「LPF」　●「VLSC」





●VLSC搭載D/Aコンバージョン回路部

●デジタル音声の劣化を防ぐ、ダイレクト・デジタル・パス回路搭載

DVD VideoのビットストリームやPCM信号を高純度でAVセンターへ送出するため、デジタル・ダイレクト・パス回路を採用。デジタル信号処理回路からデジタル出力端子への伝送経路を短縮化し、デジタル信号の劣化を防ぐとともに、デジタルノイズのアナログ回路への干渉を防いでいます。

●プログレッシブ・スキャン回路&108MHz/12bitビデオD/Aコンバーター搭載

映像処理回路には、微小レベルの映像信号の再現性を高めるため、108MHz/12bitビデオD/Aコンバーターを採用。映像信号の周波数の4倍でアップサンプリング処理を施すことにより、ノイズによる画質劣化を抑制しています。さらに、高精度なプログレッシブ変換を実現するプログレッシブ・スキャン回路を搭載。プロジェクターなど映像機器の性能を最大限に発揮します。

●スーパーオーディオCD対応のユニバーサル仕様

DPS-1は、あらゆるデジタルディスクに対応。DVD Videoはもちろんのこと、ハイビット・ハイサンプリングのスーパーオーディオCDやDVD Audioのクオリティを最大限に引き出します。また、CD-RやMP3フォーマットで録音されたCD、さらに最近話題のDVD-RやDVD-RWにも対応し、あらゆるシーンでAVライフをお楽しみいただけます。

（その他の特長）
●THX-Ultra認定●DVDオーディオ対応●スーパーオーディオCD対応●ビデオサーキットオフ機能搭載●6chマルチチャンネル出力端子（RCA）●96kHz/48kHzデジタル出力切り替え機能●ラストメモリー機能●コンディションメモリー機能（最大15枚）●タイトル/チャプター/トラックを繰り返し再生するリピート再生機能●最大24ステッププログラム再生機能●ランダム再生機能●オンスクリーンディスプレイ機能●マルチアングル機能●ディマー機能（4モード）●全ターミナル金メッキ仕様●BNC端子装備●RS232端子装備●IRコントロール端子装備●12Vトリガー（コントロールリンク）端子装備●RIオーディオコントロール端子装備

＜DPS-1主要定格＞
(ビデオ部)
●信号方式：EIAJ標準NTSCカラービジョン方式
●水平解像度：約540本
●映像端子出力感度/インピーダンス：1Vp-p/75Ω(コンポジット信号)、1Vp-p/75Ω(Y信号)、0.286Vp-p/75Ω（C信号）、0.7Vp-p/75Ω（CB信号、CR信号）
(音声部)
●音声周波数特性(デジタル音声)：DVDオーディオ=4Hz～96kHz（192kHz/EIAJ)、DVDリニア音声=4Hz～22kHz(48kHz /EIAJ)、4Hz～44kHz (96kHz /EIAJ)、CDオーディオ=4Hz～20kHz(EIAJ)
●SN比：118dB以上・ダイナミックレンジ：100dB以上
●全高調波歪率：0.001%以下・ワウ・フラッター：測定限界以下
●音声出力：光出力コネクター、0.5Vp-p/75Ω(デジタル音声)、2.0Vrms/440Ω(アナログ音声)
(総合)
●消費電力：34W(電気用品安全法技術基準)
●寸法：435W×91H×317Dmm
●質量：5.0kg
●映像出力：コンポーネント端子2(BNC端子1含む)/S端子2/コンポジット端子2/D2/D1端子1
●音声出力：デジタル3(同軸1、光2)/アナログ2/7.1ch端子1
●SURROUND1/1+2切り替えスイッチ
●外部コントロール端子(RS-232)



DVD-R　DVD-RW　CD-R/RW





スーパーオーディオCD対応
DVD Audio/Videoプレーヤー DPS-1　標準小売価格 \120,000（税別）◎リモコン/着脱式AC電源コード付属　JAN:T4961330014456

Premium Digital
Onkyo Home Theater

製品に関するお問合せ、ご相談、カタログのご請求（無料）は **オンキョーカスタマーセンター** までご連絡ください。●受付時間：平日9:30～17:30（土・日・祝日除く）	
●TEL	**0570-018111**（全国どこからでも市内通話料金で話せるナビダイアル） **072-831-8111**（携帯電話、PHSからはこちら）
●e-mail	**customer@onkyo.co.jp**
●郵便	オンキヨー株式会社 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1 カスタマーセンター行き

オンキョー製品情報、ユーザー登録ホームページ。**www.onkyo.co.jp**　快適なオーディオライフをサポートするセレクトショップ。**www.e-onkyo.com**

このカタログの記載内容は2003年4月現在のものです。

● DVD VIDEO マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。● DVD AUDIO マークは、DVDオーディオディスクの統一マークです。●各DVDプレーヤーのリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。ディスクにリージョン番号が記載されている場合、そのリージョン番号の中に「2」が含まれていない場合は、再生できません。●DVDプレーヤーはNTSC専用の映像方式で記録されたディスクに対応しています。その他の映像方式表示のディスクは使用できません。●DVDビデオディスクでも、正式な販売地域以外のディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。●各DVDプレーヤーには、合衆国特許権と知的所有権上保障された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。●DVD-RWはビデオモード、VRモードに対応。「ビデオモード」はDVDフォーラムで定められた“ DVDビデオフォーマット ”で録画するモードです。「VRモード」はDVDフォーラムで定められた“ ビデオレコーディングフォーマット ”で録画するモードです。●各ディスクの特性・傷・汚れ、プレーヤーのピックアップレンズの汚れ・結露により再生できない場合があります。●プログレッシブテレビによっては、本DVDプレーヤーのプログレッシブ出力との相性により、画像に悪影響が生じることがあります。プログレッシブ出力においてこのような問題が生じた場合は、インターレース出力に切り換えてご使用ください。●複製制限（コピーコントロール）機能のついた音楽CDの中にはCD規格に合致してないものがあり、本機で再生できない場合があります。●著作権保護のため、イーサーネットから入力した信号はデジタル出力できません。●著作権保護のため、Net-Tuneのロゴのある専用クライアント以外ではご使用になれません。●MP3CDにつきましては、ISO9660およびJoliet CD-ROMファイルシステムに従って、サンプリング周波数32kHz、44.1kHzまたは48kHzの固定ビットレートで、1回のセッションで記録されたディスクに対応しています。●ドルビー、Dolby、プロロジック、Pro Logic、Surround EX及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。●DTS、DTS-ES Extended Surround、NEO:6、DTS96/24は、Digital Theater Systems,Inc.の商標です。●THXは、ルーカスフィルム社の商標です。●インテグラ、Integra、Scepter、OMF、VLSC、Theater-Dimensional、IMAGINATIVE SIGHT&SOUNDは、オンキヨー株式会社の登録商標です。●「防磁設計」は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その際は、テレビから若干離して下さい。●あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。（お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会TEL:03-5353-0336 FAX:03-5353-0337●定格・仕様は性能改善のため予告なく変更する場合があります。●撮影・印刷の条件により、掲載製品の色調が実物と異なることがあります。

オンキヨー株式会社 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

●アフターサービスの申込は購入店または当社サービス網へ。サービスセンター ☎東京03（3861）8121・☎大阪072（831）8080
●このカタログに掲載した製品には、期間3年の保証書を添付しています。
●このカタログに掲載した製品の性能部品最低保有期間は、一部を除き生産終了後8年間です。



注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。感電、故障などの原因となることがあります。

お取扱店

Integraカタログ KNB printed in Japan 0009A